

ネイル
テクニカル
ビジュアルアート
検定試験
初級・上級

NPAA
Nail Practical Ability
Accreditation Organization

ネイルサービスに携わる者は、常に勉強しつづけなければならない職業であるとNPAAでは考えています。試行錯誤の中に発見の宝庫があり、限られた時間内で施術を完結させ、お客様の笑顔をつくっていくためには、マニキュアリストのアイデアや提案力、また高い技術力は欠かせません。そして目まぐるしく進化するネイル技術の中で、安定した高い技術や手法を自分のものにしていくために練習は欠かせません。練習をしなければ完成しないクリエイティブなデザインを形にしたのがネイルテクニカルビジュアルアート検定初級・上級です。ただ単純にデザインを完成させるだけではなく、自らデザイン案を考え、ブラシワークとジェルネイルの操作性を完全にマスターしていくための検定試験とも位置づけています。

ページ中の文言について

本要項では、一般社団法人ネイル実務認定機構を「当機構」ネイルテクニカルビジュアルアート検定試験を「当検定」と記載します。また、検定の実施を行う検定実施校、検定開催校を総じて「検定校」を記載します。文中「事務局員」とあるのは、審査官以外で検定実施に関係する者（講師等）を含みます。

はじめに

本要項には試験の概要と注意事項、申込み手続までの事項を流れに沿って記載しています。はじめにしっかりと熟読し、間違いのないように注意して下さい。また、「受験上の注意」も記載されていますので、試験当日は必ず本要項を持参してください。試験などについての問い合わせは、やむを得ない場合を除き、原則として受験者本人が行ってください。申込みの取消し、受験月日の変更はいかなる場合もお受けできません。本要項をご理解の上申込みを行ってください。

個人情報の取扱について

一般社団法人ネイル実務認定機構公表の個人情報取り扱いに準じます。

検定試験の目的

最適で高度な技術を習得し、複雑で繊細で高度な技術を提供すること。お客様のニーズを満たすための新しいデザインの提案を可能にすること。線と線の集合体を、各級試験で設定されたルールに則って描くことで、10本全体のバランス・色彩・表現力を養うことを目的とする。ラインの強弱、色調の変化を取り入れ優雅でバランスの良いデザインを完成させること。

評価

当検定は、当機構が定めた方法で評価します。当検定は当機構に登録を行った検定校で受験いただけます。いずれのネイル教育機関においても同様の評価内容となるので、検定取得に関する能力、評価等にかかわらず差異も生じません。

試験日

検定試験の受験を希望される方は各検定校にお問合せください。検定校は当機構ウェブサイトで公表しています。

受験資格

次の受験資格にあてはまる方が、当検定を受験することができます。

- 1) 義務教育を修了している者
- 2) 国籍は問わないが日本語が理解でき読み書きができる者

受験料

各級共通 5,940円(税込)

※一旦払込まれた受験料はいかなる場合も返金できません。

※受験料は予告なく変更になる場合があります。予めご了承下さい。

検定試験当日の持参物について

①検定に必要な道具類一式

(検定試験で使用する器具、材料の説明を参照)

②受験票 (A) (B)

※受験票 (A) (B) は切り離さないでください。

③証明写真(縦4cm×横3cm)

※受験票に貼り付けず、そのまま持参してください。

※必ず裏面に受験者氏名を記載してください。

④身分証明をする物(運転免許証、保険証、パスポート等)

※受験票を忘れた場合に必要となります。

⑤筆記用具

合否(判定)通知の発行について

検定校宛てに受験者の成績通知書を発送します。合格者には合格等級に応じた合格証及び取得証明カードを発行します。

※検定校に成績通知書等を発送するには、検定試験終了後、約1ヶ月程度を要します。

※当機構ウェブサイト内では合否発表は行いません。

※合格証、取得証明カードのデザインなど予告なく変更になる場合があります。予めご了承下さい。

申込み期間

検定校で実施する検定試験日時において、当機構の公式ウェブサイトでは掲載を行っていません。

検定校によって異なりますので、直接検定校にお問い合わせ下さい。

検定会場

検定会場は検定校が指定する会場となります。機構への事前の会場等のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承下さい。

申込から検定受験までの流れ

検定校が定める開催要項によって検定を実施しますので、検定校に直接ご確認ください。

- ①受験申込用紙による申込み/受験申込用紙に必要事項を記入し、必ず申込み期間内に検定校まで提出してください。
- ②検定受験料の支払い/検定校へ直接支払ってください。お支払い方法は検定校が独自に決定します。
- ③申込用紙の提出と検定料金の支払いを持って申込みの完了とします。

ネイルテクニカルビジュアルアート検定試験／初級・上級 試験概要

モデルの爪に関する条件

以下は検定試験におけるモデルの爪に関する条件を記載しています。各自条件確認に活用して下さい。

番号	内容
1	手の平側から見て1mm以上5mm以下の爪で10本の爪の長さや形が揃っていること。形の指定は特になし。条件を満たさない場合は減点の対象となる。
2	10本の爪全て適切なネイルケアが施されている。
3	モデルの10本の爪は必ず健康的な自爪にサンディングを行なっていること。サンディングが必要でないメーカーを使用する場合はサンディングの必要はない。 以下の場合のみ爪の事前修復を可能とする。 亀裂、割れ、欠けが生じた場合／ネイルグルー、ジェルスカulpture、ジェルチップオーバーレイ、ネイルラップ、シルクを用いた爪の修復を可能とする。本数は両手の内2本までとする。この場合、 自爪の形にあった自然な厚みで、他の爪と違和感がないように仕上げる。
4	モデルの爪にポリッシュ等の色が付着していないこと。モデルの爪に人工爪、またアクリルスカulpture、ジェルネイルが装着されていない自爪の状態であること。
5	モデルの皮膚または爪に疾患及び感染症が認められる場合や疑わしい場合はモデルになることができない。審査官が疑いがあると判断した場合は失格となる。
6	公衆衛生上不適正とみなされる皮膚への装飾が肘から指先までに露出していないこと。審査官や事務局員が好ましくないと判断した場合は減点となる。

受験者の爪に関する条件

番号	内容
1	爪の長さ、形に指定はないが、衛生的で清潔な状態にしておくこと。デザイン等施していても問題はない。
2	受験者の皮膚または爪に疾患及び感染症が認められる場合や疑わしい場合は受験することができない。
3	公衆衛生上不適正とみなされる皮膚への装飾が肘から指先までに露出していないこと。審査官や事務局員が好ましくないと判断した場合は減点となる。

検定試験で使用する器具、材料の説明

※以下の事項が守られていないと判断した場合は減点となる。

※使用推奨と記載のある道具のセッティング及び使用は義務ではない。

器具・材料名	説明事項
クリアケース	サイズは問わない。複数個のセッティング可。穴あきのもの、形状が複雑で中の器具、材料が確認できないケースは使用不可。乳白色でも可。
消毒液	消毒用エタノール (76.9～81.4v/v%) を使用すること。容器の容量の8割以上を入れること。手指消毒、器具消毒にも使用する。
爪用消毒剤	使用するメーカー専用の爪用消毒剤 (ネイルプレップ) を使用すること。使用が推奨されていないメーカーの場合もしくは使用するメーカーから爪用消毒剤が発売されていない場合は、他メーカーの爪用消毒剤を使用すること。
爪用拭取り剤	各工程のダスト除去用の爪用拭取り剤。メーカーが指定する専用クリーナー及び消毒用エタノールでも可。
ジェルクリーナー	使用するジェルメーカーの専用クリーナーを使用すること。ディスペンサー等を用いて保管することが望ましい。容器の容量の8割以上を入れること。
ウェットステリライザー	消毒用エタノールを入れても変質しないガラス製の容器。ガラス製でなくても変質しない容器であれば可。容器の底に白無地コットンかガーゼ、シリコンマットを敷き消毒用エタノールを入れること。

器具・材料名	説明事項
手指用消毒コットン	手指の消毒に使用するコットン。ネイル用、化粧用コットン、化粧パフでも可。ジッパー付きナイロン袋、もしくはケースに入れて保管すること。ジェルネイルワイプと同じケースに入れて保管をしても良い。
プッシャー	甘皮を押し上げる。ハンド用プッシャーを使用すること。
キューティクルニッパー	刃先が錆びていない衛生的な状態で使用すること。形状、メーカーは問わない。
ファイル類	使用するメーカーで揃えることが望ましい。メーカー名が入っていないファイルでも使用可。 ※施術工程中に手直しを行う可能性がある場合、バリ等を除去する可能性があるため。ファイル入れに入れること。
ダストブラシ	ダストを除去するブラシ。ファイル入れに保管すること。
ウッドスティック	長さ、本数の指定はない。ブラシ入れに保管すること。
白無地タオル	白無地で文字や絵柄が描かれていない衛生的なフェイスタオル、バスタオル等。
白無地ペーパータオル	キッチンペーパータオルのような白色無地に近い色のペーパータオルを用意すること。ジッパー付きナイロン袋に入れておくこと。
ゴミ袋	ゴミ袋を固定するテープ。ジッパー付きのナイロン袋を使用すること。文字、絵柄が描かれていても良いが、必ず外から中身が確認できる物を使用すること。
アームレスト	ネイル用アームレストを使用すること。
救急用具	(薬類) 消毒液、傷用軟膏 (道具) ピンセット、絆創膏5枚程度、滅菌ガーゼ5枚程度、一本ずつ個別包装された綿棒5本程度、使用した材料を破棄するジッパー付きナイロン袋1枚(小)
ワイプ	ジェルネイルの未硬化ジェル除去等で使用するワイプ。ワイプを保管する蓋付きの透明のケースで穴あきでないものかジッパー付きのナイロン袋に入れること。
ベースジェル	ベースジェルを使用すること。容器の入れ替えは可。ハケタイプ使用可。
カラージェル	各級指定のカラージェルを準備しセッティングを行う事。容器の入れ替えは可。 <u>ハケタイプのカラージェルは使用不可。</u>
トップジェル	通常のトップジェル以外に拭取り不要のノーワイプトップジェルの使用も可とする。容器の入れ替えは可。ハケタイプ使用可。
ジェルネイルブラシ	ジェルネイルブラシを用いること。ブラシの種類やメーカー、本数は問わない。必ずキャップを装着した状態で持参すること。試験中、サニタリーエリアに置く場合は、筆置きなどを用い、ブラシの先端部分がペーパーに触れないように注意すること。使用するジェルメーカーで揃えることが望ましい。ブラシ入れに保管すること。
ブラシホルダー ※使用推奨	ジェルブラシを管理するブラシ置き。サニタリーエリアで使用すること。
ジェルネイル用ランプ	ジェルメーカーが指定する専用ランプを使用することが望ましいが、他社の同一ワット数の物を使用しても可。ただしノーブランド品やメーカーのシール、印字(メーカーロゴ、名前等)がないランプは使用不可。UV/LEDいずれも使用可。試験途中にハンディ型簡易ライトを使用することは可。
攪拌スティック	本数は指定しない。爪楊枝、竹串等は使用不可。ウェットステリライザーに保管すること。
延長コード	ジェルネイル用ランプ用。1.5m～3mまで。
タイマー	無音機能付のもの。辞書機能等がついているものは不可。

以下の事項が守られていないと判断した場合は減点とする。

- ※青文字の器具、材料は内容を明記したラベルを事前に貼っておくこと(ラベルのカラーは白ベースに黒文字とする、サイズ10p以上)。手書きでも可。
- ※記載と同じ表記を用いること。省略した名称や誤った表記、文字間違いは減点対象とする。
- ※赤文字の器具、材料はウェットステリライザー内にセッティングを行うこと。なお、ウェットステリライザーの底にコットンまたはガーゼ等を敷き、ニッパーの刃先が欠けないよう十分注意すること。
- ※ベースジェルとトップジェルが同一容器の場合、1つの容器に複数のラベルを貼り付けること。
- ※爪用拭取り剤とジェルクリーナー等が同一で重複する場合は、1つの容器に複数のラベルを貼り付けること。
- ※検定試験で使用をしない器具、材料のセッティングは不可とする(エアブラシ、マシン等)。
- ※使用するジェルの攪拌は試験中に行うこと(攪拌の必要がないメーカーは攪拌不可、ただし攪拌スティックのセッティングは必要)。
- ※ベースジェル、カラージェル、トップジェル、ジェルクリーナーは全て検定申込み時に申請したジェルメーカーを使用し、全て同一メーカーであること。

ネイルテクニカルビジュアルアート検定試験／初級・上級 共通事項

使用できない用品について (全級共通)

1	ネイルアート装飾物全般 (ネイルシール、メタルパーツ、ストーン、グリッターラメ、ホログラム、ストーン等)、ペンタイプのジェルネイル、図案等が描かれた資料やテキスト
2	要項に記載のない用品、検定試験に必要なのない用品

審査官の工程審査及び審査中の確認方法についての注意事項

- 1) 試験中、セッティングされている器具、材料のラベルが見えにくい場合、確認し難い場合は審査官が器具、材料を手に取り確認を行う場合があります。
- 2) 施術工程中の審査において、施術席の隣、前後からの極めて至近距離で確認を行う場合があります。

実技試験における使用する器具、材料の取扱いについて注意事項

- 1) 使用する器具、材料が衛生的で清潔な状態であること。
- 2) 使用する器具、材料は新品でなくてもよい。ただし摩耗して技術に支障をきたす等、検定試験に不適切な材料の使用は減点となる。
- 3) 審査官が衛生的でないと判断した器具、材料を使用した場合は減点対象となる場合がある。
- 4) ジェルネイルランプが試験中に故障等により点灯しなくなった場合、予備のジェルネイルランプ、もしくは交換用ライトを準備している方のみ交換可能とする。その場合の時間の考慮は行わない。

ネイルテクニカルビジュアルアート検定試験／初級・上級 共通注意事項

1. 使用するメーカーの条件

- 1) ベースジェル、カラージェル、トップジェル、ジェルクリーナーが同一のメーカーで揃っており、教育システムを有しているメーカーを使用すること。
- 2) ハードジェル、ソークオフジェル、ミディアムジェルの種類は問わない。同一メーカーであればハードジェル、ソークオフジェル等の組み合わせは可。

2. 受付前後の注意点

- 1) 検定受付の際は必ず受験者とモデル二人一組で行い、着席した後すみやかに受験者及びモデルはマスクを着用しテーブルセッティングを行うこと。試験開始10分前までにはテーブルセッティングを終了しておくこと。受験者、モデルの荷物を机の下中央にまとめ、動線の妨げとならないように十分注意すること。
- 2) 検定受付前、建物内や建物周辺で荷物を広げたり大声で騒いだり近隣の迷惑となる行為をしないこと。
- 3) 検定受付後、会場内での飲食は禁止とする。
- 4) 検定受付後、会場内での携帯電話の使用は禁止とする。
- 5) テーブルセッティング完了後、モデルの手や爪のケアを行うことは禁止とする。

3. 受験者について

- 1) 肘から指先のアクセサリー類に関しては取り外しておくこと (ただし結婚指輪、婚約指輪のみ可)。
- 2) 受験者は試験開始後から終了時まで足を組んだり姿勢が乱れたりすることのないよう注意すること。
- 3) 受験者は試験開始後から終了時まで一切の私語は禁止とする。
- 4) 受験者は検定試験に関わる内容を、検定試験中及び審査中にモデルに質問することは禁止とする。試験開始後、試験内容やポイント、手順が記載された書類等を見たり、確認できる状況であったりする場合、不正行為とみなし失格とする。同様にモデルが試験の工程やポイントや手順に関する指示を行っているとき審査官が判断した場合は不正行為とみなし失格とする。他の受験者の工程を何度も確認をしたり、試験の工程やポイント、手順の確認をしたりする行為を行っているとき審査官が判断した場合は不正行為とみなし失格とする。
- 5) 他の受験者に迷惑がかかる言動が見られる場合で、審査官や事務局員の指示に従わなかった場合、失格とする。
- 6) 受験者もしくはモデルが遅刻した場合は失格とする。
- 7) 衛生的な白無地か、白無地に近い上着を着用すること。検定試験及び技術を行うに相応しくないとされる上着の着用を禁止とする。
- 8) 頭髪は清潔感を感じさせる衛生的なスタイルでまとめること。頭髪が受験者及びモデルの手指、材料に触れた場合は減点となる。
- 9) 受付終了後、審査官及び事務局員に対して、検定試験内容に関する質問を行なうことは禁止する。ただし、体調不良等や事前に申告を行う必要性があると判断した場合のみ対応を行う。

4. モデルについて

- 1) モデルは18歳以上の男女とする。
- 2) モデルの服装、髪型は自由であるが、検定試験そのものに支障が生ずることのない衛生的な服装、頭髪が望ましい。
- 3) 肘から指先のアクセサリー類に関しては全て取り外しておくこと（ただし結婚指輪、婚約指輪のみ可）。
- 4) モデルは試験開始後から終了時まで足を組んだり姿勢が乱れたりすることのないよう注意すること。
- 5) モデルは試験開始後から終了時まで一切の私語は禁止とする。
- 6) モデルは検定試験に関わる内容を、試験中及び審査中に受験者に指導または助言を行うことは禁止とする。
- 7) 他の受験者に迷惑がかかる言動が見られ、審査官や事務局員の指示に従わなかった場合、失格とする。

5. 検定受験に際しての注意事項

- 1) 検定試験開始10分前までにモデルと共に着席しテーブルセッティングを終了していること。着席していない場合は減点とする。
- 2) 試験に必要な道具類は全て持参すること（実技試験に必要な道具一式、筆記用具、身分証明書）。
- 3) 検定会場では貸出、買取り等は一切行なっていない。
- 4) 不正行為を行った場合は失格とする。
- 5) 検定会場では審査官、事務局員の指示に従うこと。審査官や事務局員の指示に従わなかった場合、失格とする場合がある。
- 6) 建物及び会場内は飲食、喫煙は禁止とする。
- 7) 検定会場内での携帯電話、多機能電子機器類などを時計代りとして使用することを禁止とする。実技試験に使用する時間計測器は全てタイマー（サイレント機能有）のみとする。
- 8) 受験票を忘れた場合は減点対象となり、さらに身分証明書等で確認ができない場合は失格とする。なお、受験票に貼る写真を忘れた場合は減点対象とする。
- 9) 一度申し込まれた受験料の返還は一切行ないません。
- 10) 試験日の延期、変更は一切認められません。
- 11) 検定試験中、受験者及びモデルの体調不良により離席を必要とする場合は、挙手をし、審査官及び事務局員の指示に従うこと（体調不良の場合は減点、失格にはならない）。離席後、適切な消毒を手順通り行い試験を再開すること。受験者及びモデルの離席により検定試験全般に関わり審査に支障が生じた場合、工程審査、最終審査を含め試験全般に関わる考慮はしないものとする。
- 12) 合格証書の再発行は別途3,000円の費用が必要です。

6. 検定会場における禁止事項

- 1) 検定会場への録音機・カメラなどの持ち込みまたは使用、その他検定試験中の録音・録画・複写などにあたる一切の行為
- 2) 他の人物になりすまして（身代わり）受験する行為
- 3) 試験に対する妨害行為（暴力行為・器物破損など）
- 4) カンニング行為
- 5) 検定試験中の援助または妨害行為（会話、発生、動作等）

7. 検定会場での諸注意

- 1) 検定会場では審査官及び事務局員の指示に従うこと。
- 2) 当機構及び検定会場では試験に関するご質問は一切お答えできません。
- 3) 検定会場へは公共交通機関の利用を推奨します。会場周辺道路、会場施設内、違法駐車、迷惑駐車、送迎等による駐停車は禁止とする（補助、介助が必要な場合は除きます）。
- 4) 検定当日の申込み及び使用するブランドの変更は不可とする。会場には、事前に受験票が送付された（所定の手続きを完了した）受験者とそのモデルだけが入場を許可されるものとし、お子様やその他同伴、ペットを連れての来場も不可とする。
- 5) 検定会場内での撮影、録画はいかなる場合も禁止とする。
- 6) 検定試験中は外部からの騒音を防ぐ目的で試験教室のドア・窓を閉めます。天候・季節によっては、環境・室温などご希望に添えないことがありますので、御自身で調整できる服装で来場すること（ひざ掛けの持参は可とする）。
- 7) 会場近隣のスペースや空き場所を利用して（階段など）器具、材料のセッティングや準備や施術を行わないこと。
- 8) 検定試験で出たゴミは全て持ち帰ること。
- 9) 携帯電話、その他電子機器から発生する音は検定試験の妨げとなりますので、検定会場内では必ず電源を切っておくこと。なお会場内では入室から退室まで、携帯電話（通話、メール、その他全ての機能）の使用を禁止とする。その他の電子機器の使用も禁止とする（オーディオプレーヤー、パソコン、ゲーム機、電子辞書、電子手帳等）。
- 10) 検定試験中の退室は認められません。体調不良の場合は審査官へ申し出ること。
- 11) 検定試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、審査官へ申し出て指示に従うこと。
- 12) 検定受験者同士のトラブル、モデル等のトラブルに当機構、検定校は責任を負わない。
- 13) 検定会場や機構本部への道順等の問い合わせにはお答えできません。事前にアクセスをご確認ください。

8. 注意違反・違反行為などへの対応

当要項に記載している諸注意に違反した場合、または何らかの理由により結果の正当性に疑問が生じた場合

- ①審査官及び事務局員による指導・警告
- ②検定試験の採点をしない
- ③検定試験途中の退室
- ④当機構の運営する試験に関する受験資格の剥奪
- ⑤当機構の運営する検定（過去に受験したものを全て含む）の無効 などの対応を行うことがあります。

9. 不測の事態、天変地異などによる検定試験の中止について

地震・津波・その他の自然災害、ストライキ、新型インフルエンザの流行など、不測の事態による検定会場確保の困難、停電または交通・通信・物流の混乱などの事情により、検定試験を中止することがあります。このような事態が想定しうる場合、検定校に直接お問い合わせください。なお、災害の規模などによっては電話が通じない場合もありますことを予めご了承ください。検定試験を中止した場合の事後対応についてはその都度、検定校よりご案内します。なお、検定試験中止に伴う受験者の不便・費用（受験料を除く）・その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

10. 採点ができなかった場合の措置

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、盗難、システム上の障害等により、記録用紙等が喪失、焼失、紛失し採点ができなかった場合は、当該受験者に受験料を全額返還します。ただし、これにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

11. 荷物の管理

検定会場内では手持ちの荷物は自分で管理すること。紛失・盗難などの際に当機構、検定校は責任を負わない。

※荷物置き場はテーブルの下中央となります。荷物は最小限にとどめること。

12. 検定試験の欠席

検定試験申込後に、検定試験をやむを得ない理由で欠席する場合、検定校の指定する手続きを行ってください。返金や試験日程の変更はできません。

13. 検定試験環境について

検定会場内は受験者やモデル、審査官や事務局員が入退室する音、他受験者の施術音、審査官が巡回および実技試験工程中審査など完全な無音にはなりません。また長時間に渡る検定試験のため、受験者、モデルが十分に体調を整えてください。

14. 受験票について

受験票は必ず携帯し、受付の際は必ず提示すること。検定試験中は机上の所定の位置に提示すること。

15. 感染症に関する注意事項

検定試験当日、感染症（インフルエンザ、結核、はしか等）に罹患している場合は、他の受験生や審査官への感染の恐れがあるため、原則として受験はできません。またその場合、受験料の返還は行いません。

16. 免責事項

以下の事項に関しては、当機構及び検定校においては一切責任を負いませんのでご確認ください。

- 1) 当検定を実施しないこととした際に生じる損害
- 2) 当要領に記載していることによって生じる損害
- 3) 当要領の改訂を行なったことによって生じる損害
- 4) 当検定を廃止したことによって生じる損害
- 5) 当要領に沿ったことで被った損害
- 6) 技術等が未熟なために、当要領に従って施術を行なっても、モデル等に出血等損害を与えた場合
- 7) 当検定の実施と無関係において発生したトラブルにおいて生じた損害
- 8) いかなる場合においても当機構が受験者に対して負う責任は、当該受験者が実際に支払った検定料総額を上回らないものとする
- 9) 採点（判定）結果、合否通知には一切異議を申し立てることはできません

17. 損害の賠償

以下の事項が発生した場合は、損害の賠償を受験者等に行なう場合がありますのでご確認ください。

- 1) 故意に会場等や他人に損害を与える行為を行ない、当検定の実施が遅れたり困難となった場合
- 2) 故意に会場等や他人に損害を与えて、当検定の実施が遅れたり困難となった場合
- 3) その他当検定の実施と無関係に発生したトラブルにおいて生じた損害で、当機構等から損害の賠償を請求することが妥当な場合

18. その他注意事項

検定試験中に器具、材料を落とした場合

下記の器具、材料を落とした場合は、そのまま放置せずに速やかにペーパータオルで拾い破棄をすること。その後手指消毒を行ってから実技を再開すること。手指消毒を行わなかった場合は減点対象となる。下記以外は規定の消毒方法を行うこととする。

破棄するもの：ワイプ、コットン、ペーパータオル、ファイル類、ウッドスティック、その他破棄した方が適切と判断した物

■液体類を溢した場合

液体類をクリアケース内で溢した場合は、そのまま放置せずに速やかにペーパータオルで拭き取り汚染された状態が広がらないように処置をおこなうこと。放置し、他の器具、道具類に影響があると判断した場合は減点対象となる。

■出血が生じた場合

受験者及びモデルに出血が生じた場合はそのまま放置せず、すみやかに救急用具を用いて消毒し、必要であれば止血する処置を行うこと。出血がとまらない場合は中止すること。適切な消毒方法でないと判断した場合は減点対象となる。出血に起因した器具、材料は厚生労働省のネイルサロンの衛生管理指針に応じた消毒方法を行うこと。あるいは破棄すること。

■試験中に使用する器具、材料の汚れの処置等

ペーパータオルに汚れが付着し、施術に支障が生じる場合は交換を行うこと。ペーパータオルが衛生的でないと判断した場合は減点対象となる。検定試験中、必要があれば数度ペーパータオルの交換を行っても良い。手指についた汚れは手で拭き取らず、手指用コットンで拭き取り、衛生的な状態で試験を再開すること。爪の裏のダスト、ジェル類の除去方法は手や爪で除去せず、ウッドスティックやウッドスティックにコットンを巻き付け安全に除去を行うか、手指用コットンで除去を行うこと。衛生的な処置ができていないと判断した場合は減点対象となる。

ネイルテクニカルビジュアルアート検定試験／初級・上級 実技試験の流れ

基本項目

サロンワークでの施術と仮定し、一般的かつ合理的な方法で行なうこと。

※お客様から見て違和感のない施術方法

※検定試験の目的に見合うような施術方法

試験開始前 初級／上級 共通事項

検定会場で受付後、席についた方からテーブルセッティングを行います。その際私語をしないように静かに行うこと。

注意 試験開始10分前までに必ずテーブルセッティングを行っておくこと。

テーブルセッティング例 初級／上級 共通事項

ネイルサロン実務に沿ったセッティングを行ってください。テーブルセッティング例は一例となり、この限りではありません。衛生的なセッティングができ、作業を行うにあたり効率的な環境であれば問題ありません。ワークエリア（作業エリア）、サニタリーエリア（使用する器具、材料を配置するエリア）の分類方法もネイルサロン実務に沿った衛生的で効率的な方法で施術環境を整えてください。

テーブルセッティングの注意点

机の汚れを防ぐために、白無地タオルを検定試験に必要なエリアに敷くこと。ネイルサロンで行う衛生面に配慮したテーブルセッティングを行うこと。検定実施要項に記載がなく、検定試験に関係のない器具、材料をセッティングまたは使用した場合は減点となる場合がある。

- ①検定時間を管理するための時計は、サイレント機能付きのタイマーのみ使用可とする。それ以外の時計は不可とする。ワークエリア以外の衛生的な場所で管理すること。
- ②アームレストは白無地タオルで覆う事。
- ③セッティングは横幅90cm以内に収めること。
- ④テーブルセッティングの際に、必要な器具、材料に名称ラベルが表示されているかを確認する。あらかじめ商品の名前がついている場合でも必ず貼り付けること。名称ラベルは見やすい位置に貼ること。名称ラベルの向きは受験者側に向けてセッティングすること。

テーブルセッティングの一例

- ①テーブル上を消毒してから白無地タオルを敷く。
- ②利き手側にジッパー付ナイロン袋（ゴミ袋）をセッティングし、試験で使用する器具、材料をテーブル上にセッティングする。なおこの際のウェットステリライザーの消毒については試験開始10分前までに必ず行っておくこととする。
- ③ワークエリア、サニタリーエリアとして白無地ペーパータオルを敷くことが望ましい。この場合、1枚をワークエリア、もう1枚をサニタリーエリアに配置すること。

ウェットステライザーのセッティングについて

当検定試験では、ネイルケアの項目は含まれていないが、ネイルサロン実務を想定した検定試験のため、特に使用する必要のないニッパー類も予め備え付けておくべきという考えから、必ず要項記載の通りにセッティングを行うものとする。

重要 初級/上級 共通事項

- 1) 検定試験当日までに適切なネイルケアを行っておくこと。甘皮処理は仕上がりを重視するのではなく、モデルの指を損傷する恐れを回避するため、必要最小限度の処理（甘皮を全て除去するのではなく、甘皮本来の役割を果たす事ができる程度に残す）を施すものとする。検定試験時間内でネイルケアは行わない。なお、仕上がりが審査に支障が生じると判断した場合、ネイルケアが必要であると判断した場合においては、ドライケアのみ可とする。
- 2) 検定試験当日までに事前にサンディングを行っておくこと。検定当日の爪の状況を見て更にサンディングが必要だと判断した場合は試験中に行っても良い。サンディングが必要でないメーカーを使用する場合は、サンディングの必要はない。
- 3) カラージェルは試験開始前までに事前にミキシングしても良い。
- 4) サンディング後のダスト除去・未硬化ジェルの拭取りの際、メーカーが指定する方法で適切な除去を行う事。爪1本につき1枚のワイプを使用するのか、1枚で10本のダスト除去を行うのかなどメーカーの指定及び推奨する方法で行うものとする。

試験開始後 初級/上級 共通事項

- ①消毒液を手指用消毒コットンに十分に含ませて受験者、モデルの順に手首から指先、指の間にいたるまで擦拭消毒を行う。受験者、モデルそれぞれ別の手指用消毒コットンを使用すること。スプレー等で直接手指に吹き付けることは禁止とする。
- ②モデルの爪を爪用消毒剤か消毒剤で消毒する。消毒剤を用いて消毒を行う場合はワイプや手指用コットンを用いて丁寧に消毒を行うこと。
- ③受験する級の試験内容に沿った工程を行っていくこと。施術において塗り始める爪の指定はない。ベースジェル塗布、その後各級で指定された工程を行い、最後は必ずトップジェルを塗布し仕上げること。

審査の際のテーブル上の環境について

各級指定の工程を検定試験の時間内に終了すること。なお、ペーパータオルの交換は不要。ただしジェルネイル用品のコンテナの蓋はしっかりと閉め、ダストが入らない衛生的な状態で管理すること。

仕上がり前後の手直しについて 全級 共通事項

- ①各級検定試験で指定されたデザインにおいて、検定試験時間内における施術後の手直しについての制限は特に設けない。仕上がった後に爪の先端をファイリングする必要がある場合、ファイリング後必ず拭取りを行いその後トップジェルを塗布する。
- ②各級検定試験で指定されたデザインにおいて、検定試験時間内における、施術中の手直しや、やり直しが必要な場合で、完全に取り外しを行う場合において、ファイルで取り外しを行う方法のみ可とする。有機溶剤（アセトン）等での取り外しは禁止。

MEMO

初級 試験内容 実技試験 合格ライン:100点中80点以上-時間80分

つる草のような優美で上品で繊細な曲線の集合体を描く。曲線の交差の中にドットデザインやラインアートなど様式化した植物(葉っぱ等)をモチーフとしてとり入れても良い。左右対称、左右非対称いづれもバランスよく描くこと。

- ①カラージェルによるカラーリング10本を行うこと。色指定はなし。ただし1色でのカラーリングとする。カラーリングは二度塗りとする。
- ②カラーリングを施した上に1色のカラージェルを使用し、指定されたデザインを4本描くこと。
- ③デザインを施す爪の指定はない。全体的にバランスの良い仕上がりであること。

注意

- ドット棒(スタイラス)等の使用可。
- ステンシル等は使用不可。

評価基準

【デザインへの関心、意欲】創造活動に熱心に取り組み、主体的に表現の味わい、深みをだせるように取り組むこと。

【デザインアート能力】課題に対する表現の能力を身につけ、創意工夫し、デザインアートのバランス、10本の爪のバランスが取れていること。

【感性、想像力】創造的な表現の構想を練っていること。

【技能】ブラシワークテクニックを駆使し、ラインに強弱をつけること。使用する材料や道具の特性を生かし、表現方法の工夫、製作の順序など総合的に考え、創意工夫し繊細さを表現すること。爪の長さや形にあわせてバランスよく表現すること。

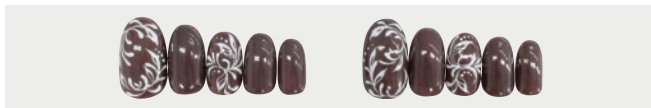
※ベースカラーを2度塗りした際にイエローラインが透けて見える(減点対象)

- ・サロン実務を想定し、爪のどの角度から見ても自然な仕上がりであること。
- ・仕上がり表面の凹凸がなく、自然で滑らかな仕上がりであること。

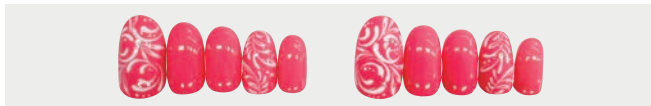
総合評価基準

- ・表面の凹凸はないか、フォルムは整っているか。
- ・未硬化ジェルが適切に除去されているか。
- ・ダスト除去が適切に行えているか。
- ・サイド、エッジ、キューティクルラインに塗布できているか。
- ・カラーの仕上がりに問題はないか。
- ・厚さ、フォルムのバランスが整っているか。
- ・皮膚付きはないか。
- ・適切な光沢がでているか。
- ・気泡(比較的目立つ)はないか。
- ・ベースジェルの仕上がりに問題はないか。
- ・爪の根元、フリーエッジ部分(先端)にジェルの溜まりはないか。
- ・使用する器具、材料が衛生的に使用できているか。

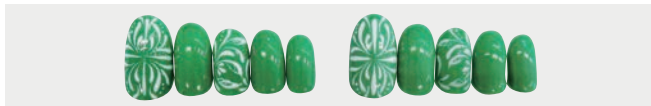
合格例



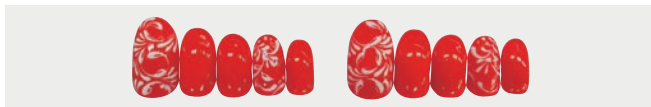
繊細で強弱のあるラインがバランスよく描かれており、目立った空白部分もなくどの角度から見ても美しい仕上がりである。



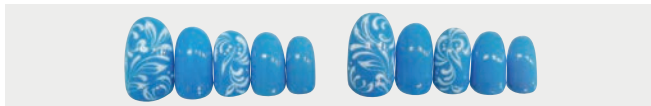
繊細で強弱のあるラインがバランスよく描かれており、目立った空白部分もなくどの角度から見ても美しい仕上がりである。カーブ部分も強弱をうまくつけている。



左右対称で繊細でかつ強弱なラインがバランスよく描かれている。ダイナミックでありながらも繊細なラインの組み合わせでカーブもうまく表現できている。

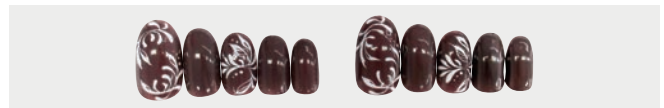


繊細で強弱のあるラインがバランスよく描かれており、目立った空白部分もなくどの角度から見ても美しい仕上がりである。

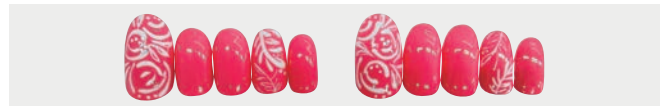


繊細で強弱のあるラインをダイナミックに描かれており、目立った空白部分もなくどの角度から見ても美しい仕上がりである。

不合格例



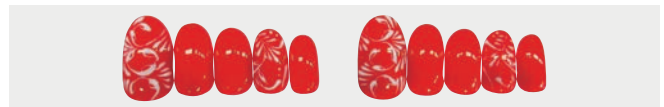
空白部分が目立ち、ラインに強弱がなく両手どちらも同じ部分に同じ絵柄が描かれており創造性に欠ける。両手デザインを反転させる等、ラインのメリハリをつけ、丸みに角をつけないように丁寧に描くことが必要。



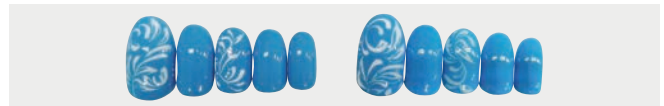
ラインに強弱がない。全体的に丸みを帯びた柔らかく繊細なカーブとは程遠く直線的なラインの組み合わせである。ドットも単調で流動性がなく極端に細いラインを描き組み合わせるなどバランスに欠ける。



空白部分が目立ちラインの色ムラが目立つ。直線的なラインが単調に描かれており、ラインに丸みがなくバランスに欠ける。



全体的にみて繊細で柔らかなカーブを描けておらず、カーブ部分に角がありバランスが悪い。ラインの強弱をうまく表現できおらず両手指など構図そのものを見直しが必要。



全体的に見てデザインバランスに欠ける。一つ一つのラインの組み合わせに空白部分があり、全体的にラインの集合体というイメージからは程遠い。流動性のあるデザインの見直しが必要。

上級 試験内容 実技試験 合格ライン:100点中80点以上-時間80分

上級:初級で描いた繊細なラインをさらに組み合わせていき独創的なモチーフを形成していく。モチーフの対象は植物であったり空想的絵画であったりと自由。線がうねりやしなやかさを表現したり強弱を表現しながら、濃淡を表現したりラインを細かく調整をしたりする。より精度の高い表現力を養う。

- ①カラージェルによるカラーリング10本を行うこと。色指定はなし。ただし1色でのカラーリングとする。カラーリングは二度塗りとする。
- ②カラーリングを施した上に1色のカラージェルを使用し、指定されたデザインを4本描くこと。
- ③デザインを施す爪の指定はない。全体的にバランスの良い仕上がりであること。

注意

- ドット棒(スタイラス)等の使用可。
- ステンシル等は使用不可。

評価基準

【デザインへの関心、意欲】創造活動に熱心に取り組み、主体的に表現の味わい、深みをだせるように取り組むこと。

【デザインアート能力】課題に対しての表現の能力を身につけ、創意工夫し、デザインアートのバランス、10本の爪のバランスがとれていること。

【感性、想像力】創造的な表現の構想を練っていること。

【技能】ブラシワークテクニックを駆使し、ラインに強弱をつけること。使用する材料や道具の特性を生かし、表現方法の工夫、製作の順序など総合的に考え、創意工夫し繊細さを表現すること。爪の長さや形にあわせてバランスよく表現すること。

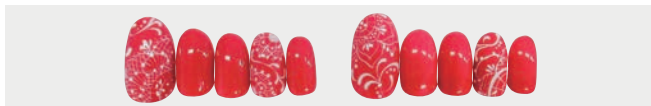
※ベースカラーを2度塗りした際にイエローラインが透けて見える(減点対象)

- ・サロン実務を想定し、爪のどの角度から見ても自然な仕上がりであること。
- ・仕上がり表面の凹凸がなく、自然で滑らかな仕上がりであること。

総合評価基準

- ・表面の凹凸はないか、フォルムは整っているか。
- ・未硬化ジェルが適切に除去されているか。
- ・ダスト除去が適切に行えているか。
- ・サイド、エッジ、キューティクルラインに塗布できているか。
- ・カラーの仕上がりに問題はないか。
- ・厚さ、フォルムのバランスが整っているか。
- ・皮膚付きはないか。
- ・適切な光沢がでているか。
- ・気泡(比較的目立つ)はないか。
- ・ベースジェルの仕上がりに問題はないか。
- ・爪の根元、フリーエッジ部分(先端)にジェルの溜まりはないか。
- ・使用する器具、材料が衛生的に使用できているか。

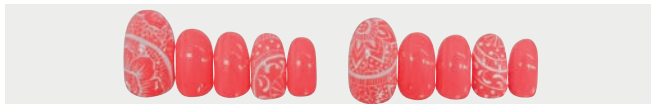
合格例



複雑で繊細なラインを組み合わせ、複数のモチーフとしてうまく表現できている。ドットひとつひとつがバランスよく表現できており、カーブもモチーフ全体を引き立たせるような繊細な仕上がりである。レース部分も均等に描けており強弱をうまく表現できている。



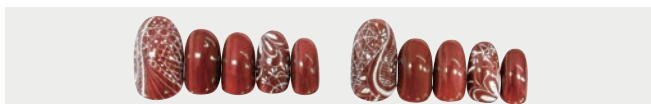
複雑で繊細なラインを組み合わせ、複数のモチーフとしてうまく表現できている。カーブもモチーフ全体を引き立たせるような繊細な仕上がりである。レース部分も遊び心を加えた繊細でダイナミックな仕上がりである。



繊細で複雑なラインやカーブをうまく組み合わせ、フラワーモチーフをバランスよくダイナミックに表現。

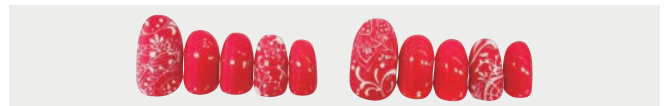


ペイズリー風デザインを繊細に描けている。難易度の高いモチーフにレース調デザインを表現し、ラインもカーブも非常に繊細に描けている。



ペイズリー風デザインをアレンジしダイナミックでありながら一つのラインやカーブが非常に繊細に描かれている。

不合格例



カーブやラインなど繊細なラインを表現できていない。レース部分も雑な仕上がりでありバランス感覚に欠ける。空白部分も目立ちラインの太さ一つをとっても均等ではなく、全体的な構図そのものが見直しが必要。



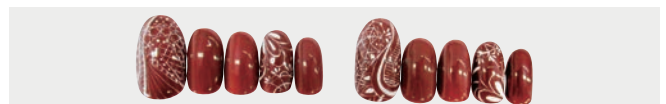
モチーフ部分の色ムラが目立つ。曲線がバランスよく描けておらず、ショートラインも太さも様々でカーブも均一でなく全体的にバランスの悪い仕上がりになっている。



ラインの強弱がバランスよく表現できていない。全体的にダイナミックな印象はあるが、繊細さや、ラインの強弱などを表現できておらず、のっぺりとした印象を受ける。



ペイズリー風デザインを描いているが、空白部分が目立つ。レース部分の一つ一つのラインも均等に描けておらず全体的にみて単調な構図となっている。



一つのラインやカーブ、線が薄かったり、逆に太すぎたりとバランス感覚に欠ける。構図そのものはうまく表現できているが、かすれ感がある。



一般社団法人ネイル実務認定機構
ウェブサイト：<http://www.nail-npaa.jp>

※乱丁・落丁はお取り替えいたします。事務局までご連絡ください。
※当要項の掲載内容を無断で転写、転記、転載することを禁じます。

検定実施校 検定開催校